

保護者の皆様

札幌市立信濃小学校
校長 斉藤 拓也

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、児童の学力・学習状況の把握分析を目的として4月に文部科学省が実施した「全国学力・学習状況調査」ですが、本校における結果及び分析についてご報告いたします。

全国学力・学習状況調査は、6年生を対象に実施しましたが、調査結果の傾向および課題につきましては、本校児童全体の傾向ととらえ、全校の保護者の皆様にもお知らせいたします。結果をもとに、各学年においても学力向上に向けて改善を図っていきたいと考えております。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面であることに十分ご理解ください。

1. 調査内容について

国語A・算数A・理科 主として「知識」に関する問題	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
国語B・算数B・理科 主として「活用」に関する問題	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容など
質問紙調査	子どもの学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査

2. 本校の調査結果の概要

	A：主として「知識」に関する問題	B：主として「活用」に関する問題
国語	○「話すこと・聞くこと」の正答率は、 <u>全国平均とほぼ同程度ではあるが、やや上回っています。</u> ○「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率は、 <u>全国平均より下回っています。</u>	○「話すこと・聞くこと」の正答率は、 <u>全国平均とほぼ同程度ではあるが、やや上回っています。</u> ○「書くこと」「読むこと」の正答率は <u>全国平均より下回っています。</u>
算数	○「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の正答率は <u>全国平均を下回っています。</u>	○「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の正答率は <u>全国平均を下回っています。</u>
理科	○「物質」の正答率は、 <u>全国平均とほぼ同程度ではあるが、やや下回っています。</u> ○「エネルギー」「生命」「地球」の正答率は、 <u>全国平均より下回っています。</u>	


※1. 「下回る」は、全国の平均正答率と比較して3.1ポイント以上、下回る状況。

※2. 「上回る」は、全国の平均正答率と比較して3.1ポイント以上、上回る状況。

3. 今回の調査における課題

国 語	算 数
<ul style="list-style-type: none"> • 目的に応じて必要な情報を捉えたり、複数の本や文章などを選んで読むこと。 • 目的に応じて、文章の内容を的確に捉え、自分の考えを明確にしながら読むこと。 • 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること。 • 漢字を文の中で正しく使うこと。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;">管 理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;">消 毒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px; display: flex; align-items: center;"> } 出題された漢字です。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 「数と計算」では、示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を、表現方法を適用して記述できること • 「量と測定」では、分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めること。 • 「図形」では、合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができること。 • 「数量関係」では、「32, 40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを分配法則を用いた式に表すこと。
理 科	
<ul style="list-style-type: none"> • 「物質」では、食塩水を熱したときの蒸発について実験を通して導き出すこと。 • 「地球」では、太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できること。 	

4. 改善の方向

国 語	算 数
<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な学習習慣を確立し各学年に配当された漢字などを着実に身に付けさせていく指導の充実。 • 物語などの様々な文章を読む機会を増やし、登場人物の性格や行動、会話、情景などの基本的な物語の構成要素や表現の工夫を理解する学習の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な計算の意味や性質についての理解を深め、計算が確実にできるようにしそれらを用いて与えられた条件に対応した解答を言葉や数で記述させていく指導の充実。 • 実際に図形を描いたり、切り取ったりの構成や分解などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにし、児童個々が性質の理解を深める学習の充実。 • 分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを正確に求められる指導の充実。
理 科	
<ul style="list-style-type: none"> • これまでに学習したことや生活体験を日常生活においても意識して活用できるような指導の充実。 • 実験の結果を記述する際に、求められている項目に即した解答をするよう心掛けさせる指導の充実。 	

5. 児童質問紙（生活習慣や学習環境）からの分析

○全国平均よりも好ましい回答が多かった項目

- ①家で学校の授業の予習・復習をしていますか。
- ②家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
- ③算数の勉強は好きですか。
- ④理科の学習は好きですか。
- ⑤理科の授業の内容は良く分かりますか。
- ⑥5年生のとき、理科の授業がおもしろそうと思いましたか。



○今年度改善された項目

- ①算数の学習は好きですか。
- ②算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。
- ③算数の問題を解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。
- ④算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。
- ⑤将来の夢や希望をもっていますか。
- ⑥先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

～算数に対する意欲の高まりが、教育実践発表会の成果として見られました。～

○信濃小の子どもの生活実態について …全国平均と比べて

質 問	全国平均と比較した本校の傾向と対策
○毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。 ◎家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 ◎家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。 ◎家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。 ◎1日当たり、1時間以上勉強していますか。 ◎新聞を読んでいますか。	左記の質問項目では、「当てはまる」が全国平均より高かった。保護者の協力のもと、子どもたちが予習復習に家庭でも取り組んでいることが伺え、 <u>信濃スタンダードの定着が見られたと捉えている</u> 。また、本校の研究テーマである「主体的に学習に向かう子どもたち」の姿も向上しつつある結果だと受け止める。予習・復習の際に教科書を使用したり、新聞などの資料にも関心をもっていることも伺える。今後も学習に対する興味関心を維持させるよう授業改善に更に努めていく。
▲週末に何をして過ごすことが多いですか。（複数回答。選択肢として①学校で授業・②家で勉強や読書・③学習など・④習い事・⑤スポーツ・⑥地域の行事・⑦テレビ／ビデオ／DVD／ゲーム・インターネット⑧家族と過ごす⑨友達と遊ぶ）	大半の児童が⑦⑧家を複数回答している。このことから、家族と一緒にの空間で余暇を過ごしていることが伺える。全国平均と照らし合わせると、⑤が少なく⑦多いことも本校の傾向であった。昨年生活実態ではゲーム時間についての改善が必要となっていたので、今年度も引き続き、健康のためにも、 <u>ゲーム等の時間を大幅に削減し、スポーツなどの体を使った過ごし方をするように学校でも呼びかけていくが、ご家庭においても生活の改善にご協力をお願いしたい</u> 。
△朝食を毎朝食べていますか。 △自分には、よいところがあると思いますか。 △学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか。（時間の範囲で選択）	「当てはまる」が全国平均より少なく、「当てはまらない」と回答する児童が多いという結果となった。朝食については、体調維持のためにも、保護者の協力をお願いしたい。上記の学習意欲の高さと異なり、1日の学習時間という点では、全国平均より少なかった。取組の質についても考え、 <u>自信をもって活動に臨んでいけるようこれからも授業改善に努めていく</u> 。

本校の調査結果の傾向および課題に対して、日常生活について改善されたことや課題として残ったことを整理し、【TTや少人数指導の工夫】【学校、家庭が一体となった習慣づくり】【宿題や家庭学習の工夫】など、効果的な授業や個に応じたきめ細かな指導を、一層充実させていきます。学習の課題と並行して、子どもたちの学校外での時間の過ごし方も大切です。家庭での生活リズム、学習習慣の確立や学校で習ったことの復習など、ご家庭でのご協力も引き続きお願いいたします。

この調査結果につきましては、後日、学校ホームページに「学ぶ力」の育成に向けた取組と併せて公開します。そちらもご覧ください。